平成 30 年 11 月 5 日

中 学 校 校 長　　様
柔道教室指導者　　様

中学校柔道三隅大会会長
浜田市教育長　石本一夫
（公印略）

第 29 回中学校柔道三隅大会の開催について（ご案内）

初冬の候　ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素から、当市の教育行政につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、本年度も柔道競技の普及と青少年の健全育成を目的として、第 29 回大会を別添要項のとおり開催いたします。 つきましては、ご多忙とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日　時　　平成 31 年　1月　27 日　（日）

2. 会　場　　島根県浜田市三隅町古市場1991
浜田市立三隅中学校　体育館

※ 大会前日（1 月 26 日）の午前 10 時より同会場におきまして練成会を開催いたします。ご到着されたチームから随時各チームの申し合わせにより実施いたしますので、こちらもぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。
また、試合会場は開放していますので練成会に参加されない場合でも練習は出来ますのでご利用ください。

※浜田市では宿泊施設に宿泊しスポーツ活動（合宿）を行う 10 人以上の団体に、1人1泊あたりの宿泊料に対し 1,000 円の補助金が交付される制度があります。事前に申請が必要ですが、今大会での宿泊についても前日の練成会が合宿（合同練習）とみなされ補助の対象となりますのでご案内いたします。
http://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1393288221266/index.html
（浜田市 HP 事務手続き等）

合宿の問合せ ： 浜田市 産業経済部 観光交流課
電話 0855-25-9530　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:kankou@city.hamada.lg.jp

第 29 回中学校柔道三隅大会　開催要項

1．主　　催　　中学校柔道三隅大会実行委員会
【実行委員会構成団体】
浜田市　浜田市教育委員会　　浜田市柔道連盟
浜田市中学校体育連盟柔道専門部　三隅町柔道協会

2．後　　援　　浜田市体育協会　浜田警察署　島根県柔道連盟
島根県中学校体育連盟　浜田市三隅体育協会　　読売新聞松江支局
山陰中央新報社　(有)トクナガ

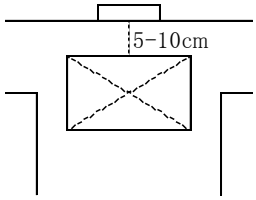
3．期　　日　　平成 31 年 1 月 27 日(日)
受　　付　7:30～8:15
監督会議　8:15～8:30
開 会 式　8:40～9:00
試合開始　9:00～16:30　終了予定

4．会　　場　　浜田市立三隅中学校　体育館
〒699－3225
島根県浜田市三隅町古市場1991
TEL(0855)32－0062
FAX(0855)32－0164

5．参加区分　　(1)団体戦(1・2年生)
・男子団体の部　・・・　1チーム(選手 5 名・交代選手 2 名　合計 7 名)
・女子団体の部　・・・　1チーム(選手 3 名・交代選手 2 名　合計 5 名)
(2)個人戦(1・2年生)
・男子の部　・・・　次の 8 階級とし、各階級 3 名以内とする。
○50kg 級(50kg以下)　　○55kg 級(50kg超～55kg以下)
○60kg 級(55kg超～60kg以下)　　○66kg 級(60kg超～66kg以下)
○73kg 級(66kg超～73kg以下)　　○81kg 級(73kg超～81kg以下)
○90kg 級(81kg超～90kg以下)　　○90kg 超級(90kg超～)
・女子の部　・・・　次の 8 階級とし、各階級 3 名以内とする。
○40kg 級(40kg以下)　　○44kg 級(40kg超～44kg以下)
○48kg 級(44kg超～48kg以下)　　○52kg 級(48kg超～52kg以下)
○57kg 級(52kg超～57kg以下)　　○63kg 級(57kg超～63kg以下)
○70kg 級(63kg超～70kg以下)　　○70kg 超級(70kg超～)

6．競技規則　　(1) 国際柔道連盟審判規定(2017-2020)・国内における「少年大会特別規定」による。
(2) 個人戦は男子、女子ともに3分間とする。判定基準は「技有」からとする。ゴールデンスコアは無制限とする。
①規定試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに突入する。
②ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた場合、または「指導」を与えられた選手が相手より多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
(3) 団体戦は男子、女子ともに予選リーグ 2 分間、決勝トーナメント3分間とする。判定基準には、「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、スコアがない場合、又は同等の場合に「指導」差が2以上あったとき、少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。優劣の成り立ちは以下のようになる。
「一本」「反則勝ち」＞「技有」＞「指導」の差が2以上(「僅差」)
(4) チーム編成は男女とも体重の重いものを大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
※ 選手変更は、基本的に試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
(5) 有段者は黒帯を用いること。(講道館から正式に証書が交付されている者)

(6) 柔道衣に規定のゼッケン(学校名、名字入り)を縫い付けて出場すること。
①布地は白地(晒、 太綾)
②サイズは横 30～35cm,縦 25～30cm
・名字(姓)は上側 2/3　　・学校名は 下側 1/3
③書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書体でも可)
男子は黒色、女子は濃い赤色。
④縫い付け場所は襟から 5cm～10 ㎝下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
※(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。2017 年度の大会より、IJF 基準柔道着「新規格柔道衣(コントロール面・規格面)」の適用が完全実施になります。
帯については、以下の「JUラベル」、「IJFマーク」が付いているものは、「新規格柔道衣の適用大会」においても着用可能です。
・JU マーク(黒色・赤色)・IJF マーク(青色・赤色)
(7)女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地の T シャツまたは半袖のレオタードを着用すること。※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年度4月1日より施行)に準ずる。具体的には以下の通り。



① 色は白、半袖、丸首であること。
② 製造業者マークは、最大 20cm^2 のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に製造業者マークが見えてはならない。
③ 正式な国家、NOC、もしくは IJF 加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100cm^2 とする。
④ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100cm^2 とする。
⑤ いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

苗　字
○○中

(8)柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

7. 競技方法　【団体戦】
(1) 予選リーグ、決勝トーナメント戦を行う。
(2) リーグ戦の順位決定は、次の方法によって決定する。
[対戦ごとに勝ち数負け数及び内容差をもって(勝・分・負)を決定する。]
ア. チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ. アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。(総勝ち数)
ウ. イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。(一本、技あり、有効、僅差)
エ. ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
オ. エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
カ. オにおいて同等の場合は、1 名による代表戦を 1 回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3 校同等の場合は、代表者 3 名によるリーグ方式を行う)。
(3) トーナメント戦の勝敗は、次の方法によって決定する。
ア. チーム間における勝ち数による。
イ. アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ. イにおいて同等の場合は、1 名による代表戦により決定する。
(4)代表戦について
① 代表戦は、監督が任意に選出した選手同士で行う。
② 判定基準は団体戦と同様とし、3分間の本戦を行う。試合両者にスコアがない場合もしくはスコアが同等である場合、または指導差が2以上ない場合は、ゴールデンスコアに突入する。
③　ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた場合、または「指導」を与えられた選手が相手より多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。

【個人戦】
(1) 各階級ともトーナメント戦とする。
(参加人数によっては、リーグ戦とすることもある。)

(2) リーグ戦の場合の順位決定は、次の方法によって決定する。
［各試合ともゴールデンスコア方式により必ず勝敗を決定する。］
ア. 勝ち負けの率による。
イ. アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
ウ. イにおいて同等の場合は、負けの内容による。
エ. ウにおいて同等の場合は、直接対戦の結果による。
オ. ウにおいて、3 名以上が同等の場合は、抽選によるﾄｰﾅﾒﾝﾄ戦で再試合を行う。

8. 表　　彰　(1)団体戦　1～3 位まで賞状及びメダル
※1 位には男子優勝旗・優勝盾、女子優勝杯（持ち回り）
(2)個人戦　1～3 位まで賞状及びメダル

9. 参 加 料　(1)団体戦　1 チーム 3,000 円　　個人戦　1 人 300 円（団体戦登録者も含む）
※参加料は、大会当日の受付時にお願いします。

10. 参加申込　**所定の様式により、下記へ E メールで申し込むこと。**

【申込・問合せ先】
〒699－3225
島根県浜田市三隅町古市場1991
浜田市立三隅中学校　佐々尾　義明
TEL（0855）32－0062
E メール：misumitaikai@yahoo.co.jp

※E メール用申込書（エクセル形式）を http://misumitaikai.blog.shinobi.jp/のブログにアップロードしていますのでダウンロードしてご利用ください。
申込用紙に監督等チーム責任者の連絡先（携帯番号）を記載してください。
（申込内容について問合せをさせたいただく場合があります）

11. 申込締切　**平成 30 年 12 月 14 日（金）　必着**
※締切後の申込は一切受け付けません。

12. そ の 他　(1)**1 チーム当り 1 人以上の審判員の選出をお願いします。（申込用紙に氏名記載）**
(2)当日の申込または、電話での申込は一切受付けませんのでご了承下さい。
(3)申込後の参加人数の変更は随時受付けますが、参加料に係わる変更は
平成 31 年 1 月 18 日（金）　17:00 までとします。以後変更があっても参加料の変更は致しませんのでご了承ください。
(3)参加チームは、各団体の責任において保険に加入してください。
(4)試合中の負傷については応急処置のみ主催者が行いますが、それ以後の責任は負いません
(5)脳振盪対応について選手および指導者は下記事項を遵守すること
① 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場 の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
(6)皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染の疑い、もしくは感染が判明した選手については、大会に出場できない場合もある。
(7)宿泊、昼食を希望するチームは申込書に明記して下さい。
・宿泊料　1 泊 2 食付　7,000 円程度
・弁　当　600 円
(8)当日会場にて出たゴミ類（弁当の殻・ｼﾞｭｰｽ類の空き缶・空き瓶）は、各自またはチームにてお持ち帰り下さるようお願い致します。
※大会事務局に申込まれた弁当の殻については事務局で回収いたします。